

板硝子協会の板ガラスリサイクル活動について

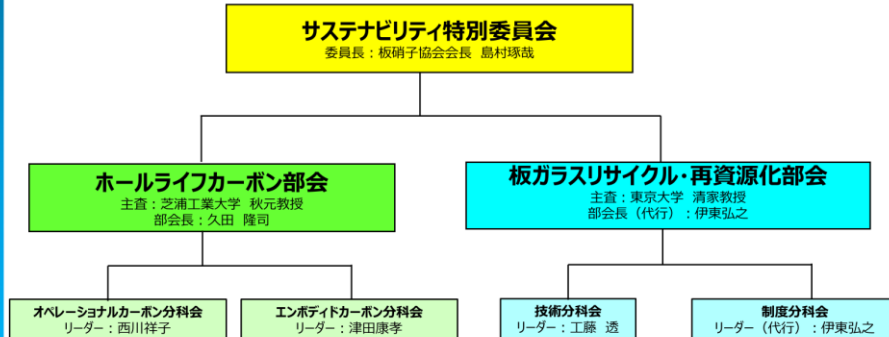
2026年6月10日

(一社) 板硝子協会サステナビリティ特別委員会

事務局長 伊東弘之

板ガラスリサイクル・再資源化部会の組織改正

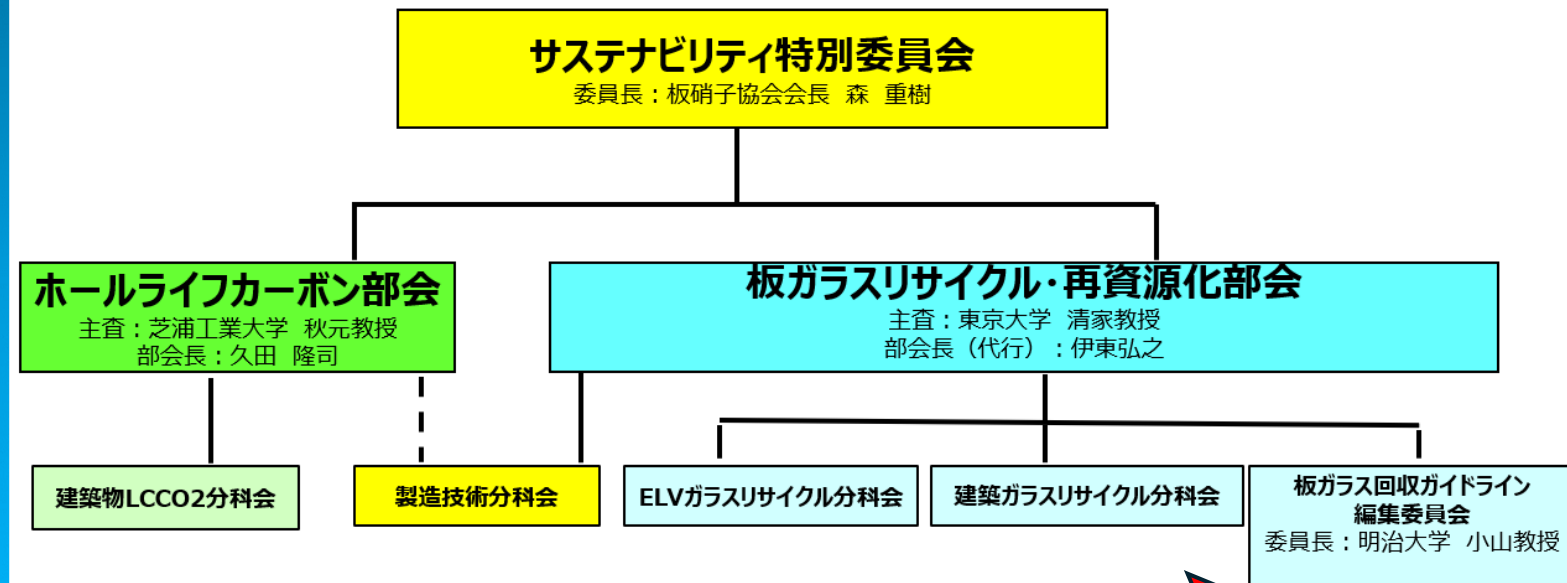
サステナビリティ特別委員会の組織と体制



3

2026年サステナビリティ特別委員会の組織と体制

2026/4/21現在



2025年度板ガラスリサイクル・再資源化部会 活動報告

1. 活動方針の“流れ”

2024年度 “白紙状況”から調査ヒヤリングにより現状を把握

2025年度 課題の抽出と実証実験を通じた解決への方針を模索

2026年度 方針に従いリサイクルの実践活動の拡大

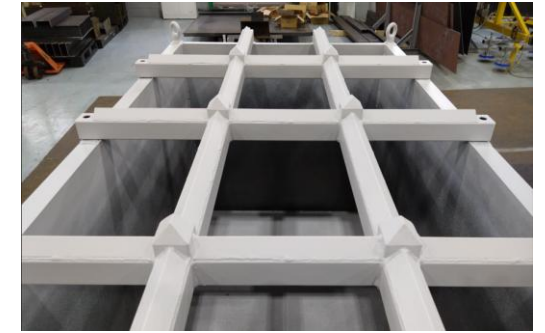
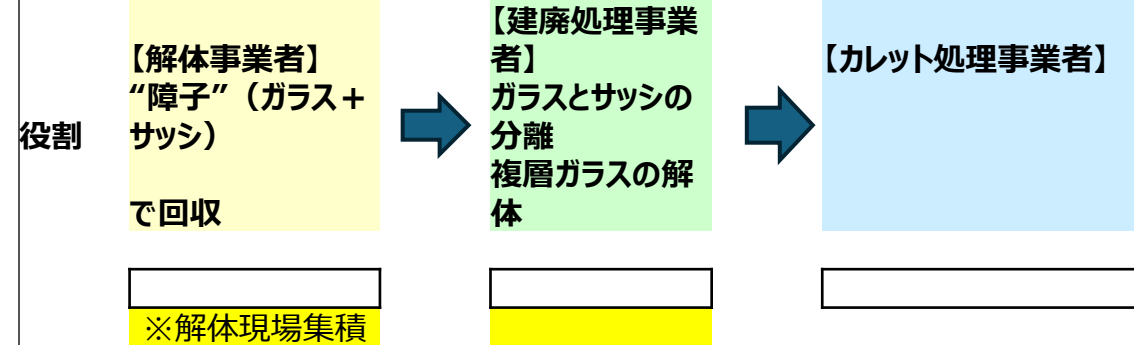
2. 2025年度に達成できたこと

- ①『板ガラスリサイクルビジョン～ファーストビジョン2025』の発出
⇒“ポストカレット”リサイクル目標量の設定：2030年11万t、2050年30万t
- ②建築ガラスリサイクル実証実験3件の完遂
- ③自動車ガラスリサイクル「J-FAR実証事業」の完了
- ④複層・合せガラス解体・分離技術として、
複層：すのこ落とし破碎装置 合せ：湿式トロンメル装置
を検討俎上に上げることができた。

2025年度建築ガラスリサイクル実証実験の結果報告

北海道における戸建て住宅から回収した『複層ガラス』リサイクル

北海道実証実験のスキーム



【東京建設会館】

東京建設会館廃ガラス回収のスキーム

